

厚生労働大臣 殿

京都大学医学部附属病院  
病院長 内山

京都大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	133人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	338人	289人	614.4人	看護業務補助者	59人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	12人	20.0人	理学療法士	12人	臨床検査技師	73人
薬剤師	56人	3人	58.2人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	7人	その他	0人
助産師	34人	0人	24.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	829人	32人	853.3人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	7人	0人	7.0人	栄養士	1人	その他の技術員	5人
歯科衛生士	1人	2人	2.5人	歯科技工士	3人	事務職員	312人
管理栄養士	8人	2人	9.5人	診療放射線技師	49人	その他の職員	200人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	958.1人	14人	972.1人
1日当たり平均外来患者数	2,371.3人	85.6人	2,456.9人
1日当たり平均調剤数	1,687剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
・人工中耳	有・無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術（内視鏡下を含む）	有・無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	有・無	人
・SDI法による抗癌剤感受性試験	有・無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	人
・抗がん剤感受性試験	有・無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
・成長障害のDNA診断	有・無	人
・生体部分肺移植術	有・無	0人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・ <sup>31</sup> P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィリン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍（神経芽腫）のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗癌剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対する muscle afferent block (MAB) 治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験 (CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術 (CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血管細胞 (CD34陽性細胞に限る。) による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
・副甲状腺内活性化型ビタミンD (アナログ) 直接注入療法	有・無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
・自己腫瘍（組織）を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
・自己腫瘍（組織）及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・無	1 人
・顎顔面補綴	有・無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
・歯周組織再生誘導法	有・無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・無	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核手術	有・無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術（PPH）	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
強度変調放射線治療	有・無	54 人
胎児心超音波検査	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器主要手術	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻空手術	有・無	人
インプラント義歯	有・無	3 人
顎顔面補綴	有・無	0 人
人工中耳	有・無	人
歯周組織再生誘導法	有・無	人
抗がん剤感受性試験	有・無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
生体部分肺移植術	有・無	0 人
活性化血小板の検出	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	人
眼底三次元画像解析	有・無	人
CYP2C19 遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	78人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	40人
・多発性硬化症	43人	・ウェゲナー肉芽腫症	8人
・重症筋無力症	59人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	71人
・全身性エリテマトーデス	324人	・多系統萎縮症	15人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	25人	・膿疱性乾癬	7人
・サルコイドーシス	87人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・筋萎縮性側索硬化症	22人	・原発性胆汁性肝硬変	59人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	218人	・重症急性膵炎	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	34人	・特発性大腿骨頭壊死症	23人
・結節性動脈周囲炎	46人	・混合性結合組織病	28人
・潰瘍性大腸炎	121人	・原発性免疫不全症候群	7人
・大動脈炎症候群	58人	・特発性間質性肺炎	28人
・ピュルガー病	13人	・網膜色素変性症	98人
・天疱瘡	10人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	27人	・原発性肺高血圧症	11人
・クローン病	68人	・神経繊維腫症	19人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	19人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	36人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	7人
・パーキンソン病関連疾患	95人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	4人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	30人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3. 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病理診断部門：毎日、臨床検査部門：1回/週	
剖 検 の 状 況	剖検症例数 22例	剖検率 7.4%

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
ヒトABO血液型不適合肝移植における生着機序解明と液性拒絶克のための戦略	江川 裕人	臓器移植医療部	6,900,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)継続
多臓器不全発生に関与する脂質メディエーターと脳障害発症メカニズムの解明	小池 薫	総合診療科	3,500,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
CCN1の心臓における機能解析と新しい虚血性心疾患治療法の開発	田中 誠	地域ネットワーク医療部	2,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
手術後患者の生活の質改善因子の検討	白神 豪太郎	デイサージャリー診療部	900,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
3テスラ超高磁場MRIを用いた肝細胞癌の検出能の最適化及び分化度推定法の開発	前谷 洋爾	放射線診断科	2,000,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
超高磁場核磁気共鳴画像装置による循環器疾患解明のための画像化に関する研究	多田村 栄二	放射線診断科	2,900,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
フルオロチミジンを用いた悪性腫瘍に対する放射線・化学療法後のPET診断	中本 裕士	放射線診断科	1,500,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
がんの超早期診断・治療のための高感度分子イメージングプローブの開発	中本 裕士	放射線診断科	1,000,000	補 委	萌芽の先端医療技術推進研究事業継続
MR装置の基本性能向上①基本画質の向上②基本機能の向上	富樫 かおり	放射線診断科	2,970,000	補 委	東芝メディカルシステムズ(株)
マルチスライスCT検査における患者負担の軽減と臨床応用	富樫 かおり	放射線診断科	1,000,000	補 委	東芝メディカルシステムズ(株)
ペプチドトランスポートソームの実体解明と発現・局在調節における生理的意義	乾 賢一	薬剤部	4,700,000	補 委	文部科学省特定領域研究新規
抗リン酸化ペプチド抗体を用いた高感度カルシニューリン活性測定法の開発と臨床応用	乾 賢一	薬剤部	2,400,000	補 委	文部科学省萌芽研究新規
移植免疫ネットワークの分子機構に基づく個別化免疫抑制療法の確立	乾 賢一	薬剤部	6,800,000	補 委	文部科学省基盤研究(A)(2)継続
がん専門薬剤師研修事業	乾 賢一	薬剤部	8,536,000	補 委	(社)日本病院薬剤師会
薬物輸送蛋白(トランスポータ)の機能制御機構に関する研究	乾 賢一	薬剤部	2,200,000	補 委	大日本住友製薬(株)
ゲノム情報を活用した薬物トランスポート発現量予測システムの構築とテーラーメイド薬物療法への応用	乾 賢一	薬剤部	39,502,000	補 委	厚生労働省科学研究費補助金

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
臓器移植患者の小腸及び肝組織を用いた遺伝子機能解析に基づくテラーメイド免疫抑制療法の確立に関する研究	乾 賢一	薬剤部	34,000,000	補 委	厚生労働省科学研究費補助金
前処理装置を搭載した高感度遺伝子多型検出用バイオチップシステムの開発	乾 賢一	薬剤部	10,500,000	補 委	NEDO技術開発機構
有機アニオントランスポータの細胞・臓器特異的選別輸送機構の解明	桂 敏也	薬剤部	1,600,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
複数の免疫抑制薬併用による効果・副作用の増強と減弱に関する分子機構解明	増田 智先	薬剤部	8,500,000	補 委	文部科学省若手研究(A)新規
腎疾患増悪過程における有機イオントランスポータの発現変動機構に関する研究	本橋 秀之	薬剤部	1,300,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続
骨髄間葉細胞含有血管茎いりチューブを用いた末梢神経再生	柿木 良介	リハビリテーション部	1,500,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
横紋筋肉腫におけるメチル化DNA領域網羅的解析による発癌機構の究明	三沢 あき子	外来化学療法部	2,500,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規
重症インスリン依存状態糖尿病に対する免疫抑制剤を併用した心停止ドナー膵島移植の検討	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	60,000,000	補 委	株式会社京都レメディス
臓器移植における新たな免疫抑制療法の開発に関する研究	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	2,727,200	補 委	アステラス製薬㈱
肝と周辺臓器の肝再生調節に関する研究ー移植過小グラフトの至適門脈血行動態の解明ー	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	3,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
血液細胞ー血管内皮相互反応制御による網膜絡膜疾患の病態解明と新治療法の開発	宮本 和明	眼科	7,200,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
網膜構成細胞と骨髄細胞の細胞融合現象と細胞機能変化	大谷 篤史	眼科	1,400,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
骨髄血管前駆細胞を使った網膜血管再生治療及び網膜神経保護療法の開発	大谷 篤史	眼科	6,500,000	補 委	文部科学省若手研究(A)継続
温度感受性リポソーム法による糖尿病モデルラットにおける糖尿病脈絡膜症の観察	田村 寛	眼科	1,800,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規
骨髄間質細胞移植による緑内障性視神経障害治療の試み	田邊 晶代	眼科	1,500,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
糖尿病黄斑浮腫におけるエリスロポエチンの役割の解明と新治療の開発	渡部 大介	眼科	2,100,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
Full Field型光干渉層画像化法による網膜神経節細胞可視化の検証	板谷 正紀	眼科	1,800,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
血管新生緑内障におけるEph/ephrin系の関与とその治療応用の検討	尾島 知成	眼科	1,800,000	補 委 文部科学省若手研究(B)新規
3D OCT-1000を用いた健常者データ収集とソフトウェア開発	吉村 長久	眼科	4,070,000	補 委 株式会社トプコン
硝子体と高分子の相互作用に関する研究	吉村 長久	眼科	0	補 委 むさしドリーム眼科
緑内障の病態解明と新しい薬物療法の開発	吉村 長久	眼科	8,500,000	補 委 参天製薬株式会社
(1)黄斑疾患の研究 (2)FD-OCTの研究評価	吉村 長久	眼科	5,500,000	補 委 株式会社トプコン
高深さ分解能OCTの研究評価	吉村 長久	眼科	12,543,300	補 委 ㈱トプコン
骨髄・末梢血幹細胞の賦活化による網膜神経変性疾患の 予防・治療法の開発	吉村 長久	眼科	360,000	補 委 千寿製薬株式会社
Er-YAGレーザーの眼科応用についての研究	板谷 正紀	眼科	420,000	補 委 HOYA株式会社
表皮、真皮、皮下組織の同時培養、同時再建一培養皮弁作製	森本 尚樹	形成外科	900,000	補 委 文部科学省若手研究(B)継続
皮膚の保存に関する研究	川添 剛	形成外科	1,700,000	補 委 文部科学省若手研究(B)新規
ケロイド幹細胞:分離・同定とその発生病理学的意義	鈴木 茂彦	形成外科	4,000,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)新規
自家移植神経側々吻合を用いた神経損傷後の支配筋萎縮防止法の開発 代表者変更	鈴木 茂彦	形成外科	900,000	補 委 文部科学省萌芽研究継続
体表臓器の研究開発	鈴木 茂彦	形成外科	54,999,000	補 委 国立大学法人東京大学
人工真皮に替わる細胞増殖因子徐放性基材の開発及びこれを用いた培養皮膚作製	鈴木 茂彦	形成外科	2,020,000	補 委 (独)科学技術振興機構
腫瘍性疾患および炎症性疾患における鉄のホメオスタシス機構の果たす意義	川端 浩	血液・腫瘍内科	1,200,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続

注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16



## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
ATLに対する有効な造血幹細胞移植/細胞・免疫療法の開発	内山 卓	血液・腫瘍内科	11,200,000	補 委	文部科学省特定領域研究継続
担癌個体および化学療法後の造血回復期における骨髄系免疫抑制細胞の解析	門脇 則光	血液・腫瘍内科	1,600,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
新規免疫細胞治療法の開発についての研究	門脇 則光	血液・腫瘍内科	180,000	補 委	SBI免疫セラピー・プランニング(株)
WT1ペプチドとゾレドロン酸を添加した樹状細胞による急性骨髄性白血病に対する細胞免疫療法(臨床第I相/前期第II相試験)	石川 隆之	血液・腫瘍内科	6,500,000	補 委	株式会社メディネット
メタボリックシンドローム発症における胎生期栄養環境の関与の研究と予防戦略の開発	伊東 宏晃	産科婦人科	4,955,148	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
自己免疫の活性化を利用した新しい婦人科癌免疫療法の確立と臨床応用(H19.4.1代表者変更旧研究代表者藤井信吾)	高倉 賢二	産科婦人科	26,100,000	補 委	文部科学省基盤研究(A)新規
内分泌・免疫系ネットワークを介した母体と胚の相互応答による胚着床誘導機構の解明	藤原 浩	産科婦人科	8,800,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
婦人科癌患者での制御性T細胞の発現・機能の解析—その操作による免疫療法に向けて	八木 治彦	産科婦人科	1,700,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規
婦人科悪性腫瘍に対する樹状細胞免疫療法の効果増強因子を同定する臨床的・基礎的研究9/30内定	万代 昌紀	産科婦人科	1,100,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
組織特異的幹細胞の移植による胎盤の形成ならびに機能分化機構の解析 代表者変更	鈴木 彩子	産科婦人科	1,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
抗悪性腫瘍剤による卵巣障害とその分子生物学的解析	樋口 壽宏	産科婦人科	110,000	補 委	森永乳業株式会社
胎生期低栄養による成長後の代謝異常発生機序の解明とその予防戦略の開発	由良 茂夫	産科婦人科	8,268,000	補 委	(独)科学技術振興機構
睡眠時無呼吸発生時のみ下顎前突させる人工筋肉駆動型口腔内装置の開発	吉田 和也	歯科口腔外科	1,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
歯牙再生に関する分子生物学的研究	高橋 克	歯科口腔外科	1,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
神経筋活動をモニターし瞬目および眼球運動が可能な顔面エピテーゼの開発	高藤 洋之	歯科口腔外科	600,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
ヒト骨形成因子遺伝子導入による軟骨、骨誘導	大久保 康則	歯科口腔外科	1,000,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続

注) 1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計16